地域活動の場がある事がうれしい

モチベーションにつながる交流

師走に入り、今年もあわただしく過ぎ去ろうとしています。いつになく美しく咲き誇る山茶花、池花池や遠州池に飛来した白鳥たちに冬の訪れを感じる頃となりました。皆さんにとってこの一年はどんな年でしたか？みの～れでは今年も盛り沢山のイベントが開かれ抱えきれない程の感動を味わった事でしょう。今回は、みのり太鼓の結成時から20年間に渡り活躍されている張星地区にお住まいの坂本梨恵さんを取材する。

「多くの文化関係者が集まり、活気のあるみの～れは私にとって貴重な場所」と語る坂本さん

みの～れ支援隊　ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟﾘｰﾀﾞｰ
みの～れ支援隊　スタッフエッグ

坂本梨恵さん

みの～れと共に生活するスタイル
Minole Life のすすめ
No.43

坂本さんは小学校3年生の時にみのり太鼓に入団した。きっかけは「お母さんに連れられて説明会に参加したこと」だ。初めてステージに立ったのは入団して3年目。夏祭りやコンテストに出場したり姉妹都市のアビリンにも行き和太鼓の魅力を外国で披露してきた。

東京で行われたコンテストでは準優勝の栄に輝き、団員一人ひとりのモチベーションが上がった。

「太鼓を長い間やっていて地域のつながりを感じることが出来る。やっていて良かったと思うし、こんなに色々な方に出会えると思わなかった。太鼓をやっていなかったらどうなっていただろう・・・と思うことがある。太鼓は人と人をつなぐ事が出来る架け橋で、太鼓はずっと生活の一部だった。今年は敬老会や小学校等、色々なところのイベントにも参加し、多くの方との方とのつながりが出来た。」と話す。

坂本さんは障害者施設の指導員をしている。優しそうな人柄の坂本さんの趣味は地域活動。スポーツが大好きでバスケットボールや陸上で活躍した。体を動かすことが大好きな坂本さんは太鼓の他にも篠笛や御神楽舞（みかぐらまい）もこなす。社会人になってからは仕事の都合もあるが土曜日の夜の練習は極力参加するようにしている。

平成23年2月20日（日）みの～れ風のホールに於いて20回目を迎える「太鼓教室」が行われる。親子の部と一般の部を設け参加しやすい工夫がされており、楽しいひと時を過ごすことが出来る。「なかなか太鼓と触れる機会が少ないと思うので貴重な体験が出来ます。夏と冬、年2回太鼓教室があり初心者の方も大歓迎です。沢山の参加をお待ちしております」と坂本さんは話す。

また、来春はみのり太鼓の20周年記念公演も行われる。現在、キャストを決めたり、演目を絞ったり、構成したりと大忙しだが、「地域を大切にして太鼓をもっと身近に感じてもらえるような公演にしたい・・・。沢山の方に来ていただいて見てもらうのが目標」と話す。

坂本さんにとってみの～れは、「人と人とが集って色々な文化や趣味を持った方が集まって生き生き出来るところ。笑顔になって、色々な事を体験・経験させてもらえる所」と話す。新しい年もみの～れで沢山の幸せと出会えることを願っております。

（藤田佐知子）